

ちょこつとマーケット

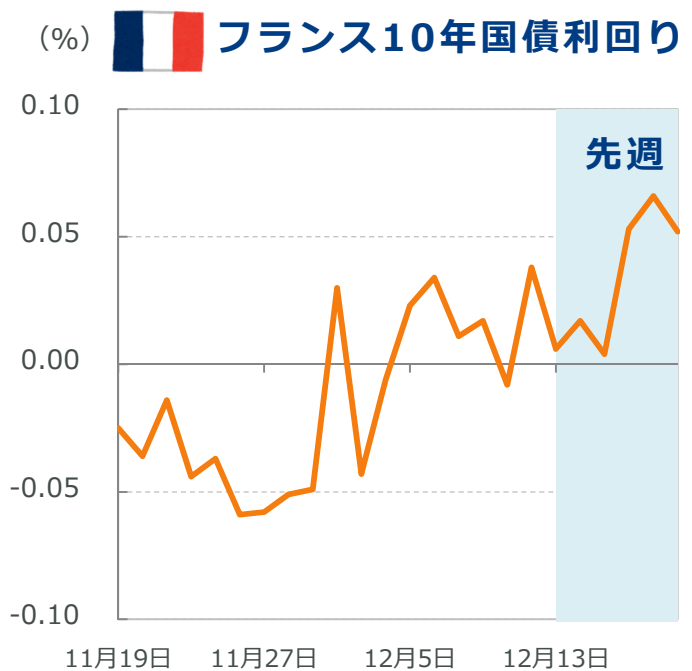
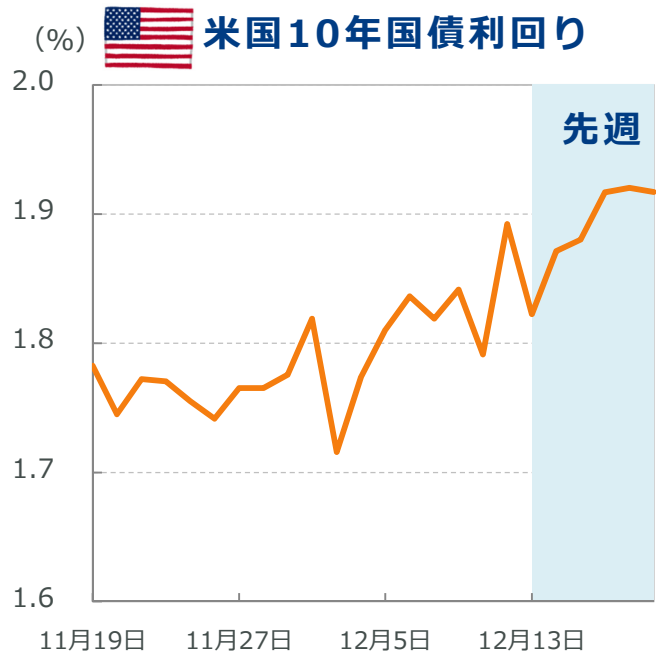
(先進国国債利回り・為替)

POINT 先進国国債利回り

【2019年12月16日～2019年12月20日】

国債利回りは上昇

- ◆ 米中の「第1段階」の通商合意を受けて世界経済の先行き懸念が和らぎ、米株式市場では主要株価指数が最高値を更新しました。
- ◆ 国債は売られやすい地合いとなり利回りは上昇しました。



(注) データは2019年11月19日から2019年12月20日（日次）。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ちよコツとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

【2019年12月16日～2019年12月20日】

円は対米ドルで下落

- ◆米中の「第1段階」通商合意を好感した投資家のリスク選好的な米ドル買い・円売りが進みました。
- ◆一方、ジョンソン英首相が英国の欧州連合（EU）離脱後の移行期間を延長しない意向を示したことを受けて、合意なきEU離脱への新たな懸念が浮上し、円は対ユーロでは上昇しました。

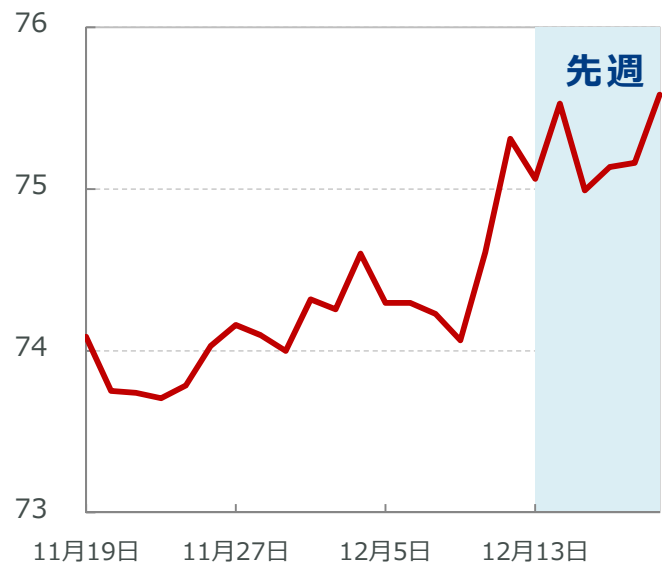
 **米ドル円**



 **ユーロ円**



 **豪ドル円**



(注) データは2019年11月19日から2019年12月20日（日次）。
 (出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。